

## 4 改良ます網漁業試験

久貝一成

昨年に引き続き改良ます網の試験と敷設適地調査をした。

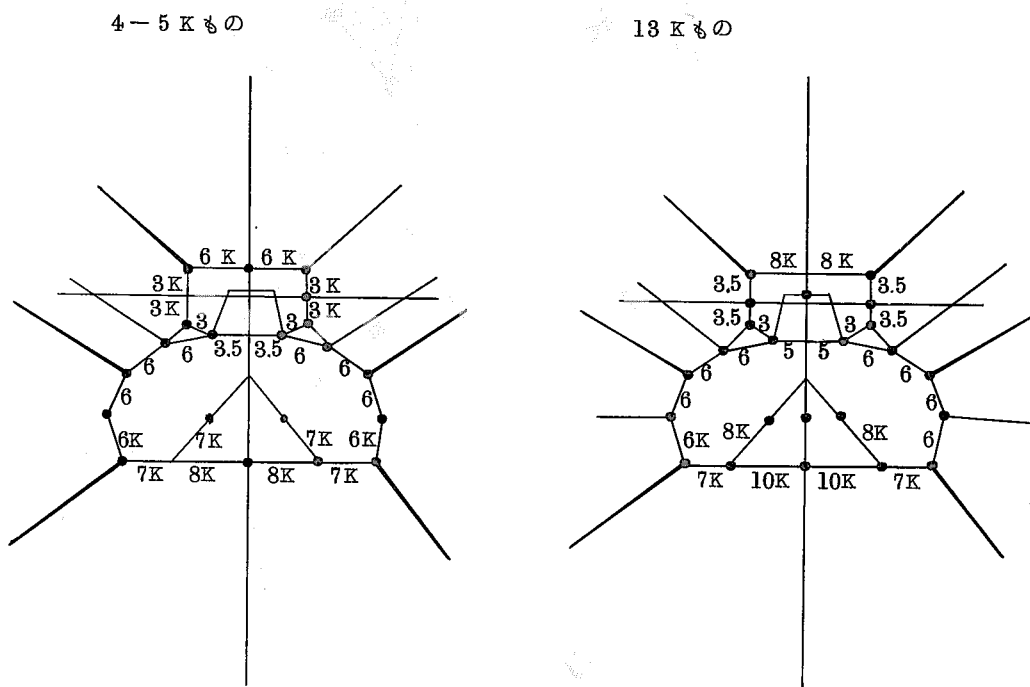
本年度は13K網と4~5K網の2統を昨年同様粕谷製網から貸与を受け、主に本部を中心に試験した。試験に先だち適地調査を伊江島と本部半島西側沿岸、瀬底島で実施したが伊江島ではリーフがかなり沖合まで発達しているため、適地選定は不可能であった。本部では、可能水域は渡久地港外と浜元部落先、健堅部落先、崎本部の地先が可能である。瀬底島では本部よりの沿岸域が7~8Kもの、4~5Kものの2ヶ統敷設可能水域があるその外はリーフが点在して身網(箱網)設置が困難である。

### 1 試験の概要

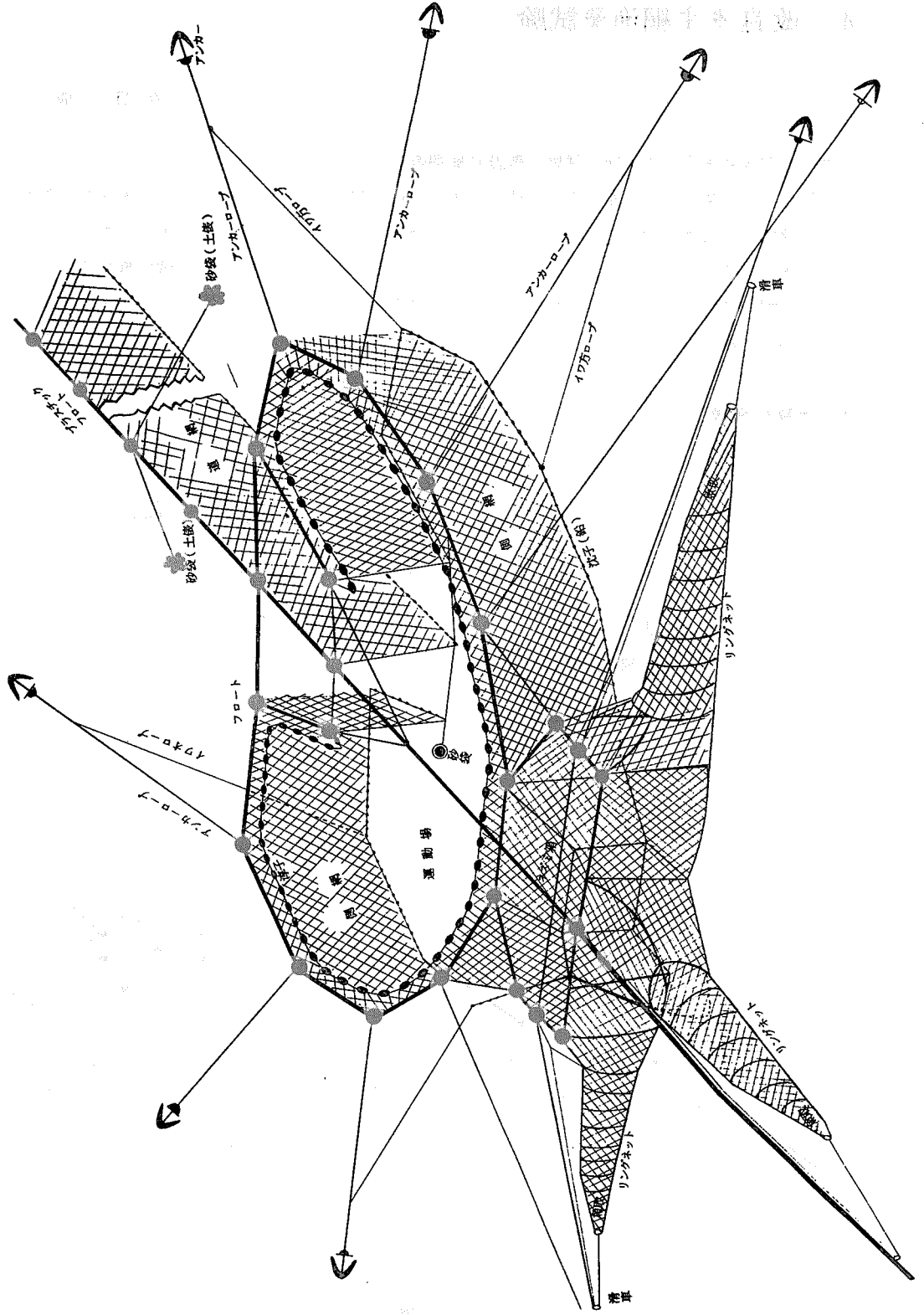
期 間	網の大きさ	漁 場	備 考
S 47. 11. 10 ~ 15 (6日)	13Kもの	瀬底島 A	試験場、本部漁協、漁民 共同
S 48. 1. 25 ~ 2. 19 (26日)	4~5Kもの	// B	//

#### 1) 試験網の構造

##### イ 平面側張図



平面側張図

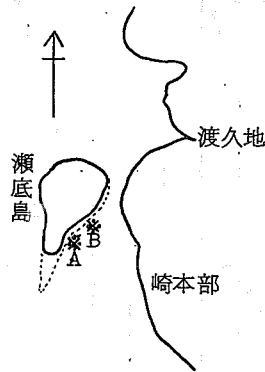


□ 設置目取図

## 2) 試験の方法

試験場、本部漁協、漁業者3者共同による試験で、試験場が指導しながら敷設し、水揚げについては本部漁協が漁業者(仲井真)と行い、その都度漁獲日誌で報告した。

## 3) 試験のための敷設場所



## 4) 漁場別の概要

### A 漁場

この漁場は瀬底島の南側沿岸で本部半島に面したところである。潮流はあったが網敷設に支障はなかった。ここは採石場からの流土等による汚染、本部の土地造成による流砂の影響もあって透明度は極端に悪く1m~4mで、漁場選定にあたってかなり困難をきたした。選定は一応海図参考と潜水調査、漁業者の意見もきいて選定した。しかし設置後箱網の外イワ方の一部がリーフにかかったため2日間の敷設試験で網を引き上げたので、この漁場の価値については不明である。第1日目(11月13日)はヒラアジ1kg、ヤマトカマス2.5kg、グルクマ2kg、アイゴ0.5kg、ツバメウオ10kg、イロブダイ2kg、メガネツバクロエイ2kg、計20kg、第2日目(11月14日)、ヒラアジ0.8kg、グルクマ2kg、メアジ1kg、フエフキダイ3kg、ツバメウオ6kg、アオリイカ0.3kg、計13.1kgであった。ここではツバメウオが多いような傾向がみられる。ここでは13K網を使用して試験した。

### B 漁場

ここは瀬底島の丁度まんなかあたりの本部半島に面した沿岸でところどころ小リーフが点在しているが、砂場が多いので漁場選定は容易であった。潮流はこの場所から外側はかなり強かったが、網を敷設したところは潮はゆるく網成りに支障はなかった。網丈4~5Kものであるため敷設もやりやすく、底質も水面からはっきり分った。

これは採石場からの流土の影響が少ないことと渡久地の土地造成が完了したのでここからの流砂がないため透明度も割合よかったのである。ここでの魚種別の漁獲状況は次のとおりである。

月日	事項		漁獲量 kg	ヒラアジ類	ハマダマ	クルマ	メアジ	アイゴ	チカメ キントキ	ダツ	ムロ	ミナミ ハダホ	アオリイカ	ホシサヨリ	ヒメジ	その他			
	新	旧																	
12月22日			30.0	1.0	2.0	2.0	0.3	20.0	1.2	1.0	0.5				0.2	1.8	コブスメ外		
27			27.5				12.5					1.5			7.0	6.5	コブスメ		
28			69.0		5.5	6.5	2.5	17.5						10.0	15.0	6.0	コブスメ		
29			47.5					8.5	4.5	5.0	3.5	10.0	6.0	2.0	5.0	4.0	ヒトスジタマガシラ コブスメ		
30			18.0	2.5	2.0		8.5						5.0	1.5	4.5	1.5	コブスメ		
31			12.0				10.0						2.5	2.0			トビエイが入って箱 細)漁獲減少		
2月1日			10.0		1.0									1.0		8.0	タマガシラ 2.0		
2			5.0		5.0												網よごれて来る		
3 1月1日			4.0	2.0	2.0														
4																	網入れ替		
5			3.8					1.2		0.7						0.5			
6			10.0		2.0						8.0		1.4						
7			8.0														8.0	コブスメ	
8			3.0		8.0														
9			7.0			8.0		8.0											
10			8.5		1.0			1.5					1.0			1.0			
11																		皆無	
12			24.5											4.0		20.5	アナゴ		
13			6.0		0.5			0.5		2.0				1.5		1.5	タチウオ		
14																		皆無	
15			48.0			48.0													
16			0.5															0.5	タチウオ
17			2.0									1.0						1.0	タチウオ
18			8.0	1.0	1.5					0.5								5.0	コブスメ
19			5.5		2.0			1.0					2.5						
25日			347.8	6.5	27.5	54.5	2.8	79.2	5.7	9.2	12.0	11.0	1.99	22.0	31.7	65.8			

#### この漁場では

- コブシメが多い
- アイゴが多い
- 群集性のイワシ・メアジの入網が殆んどない。
- 漁獲量変動が6日目頃があるのは、トビエイ（約70kg）が箱網に入ったためと  
その後の漁獲量減は網破損（エイによる）による。
- しかし網補修して入れ替えても入網量が増加しないのは回遊量が少なかったため  
ではないかと思う。
- 特にアイゴが激減しているのは瀬底島南側瀬での追込網漁に原因があると思われ  
る。

#### 考 察

- 4～5K網はクリ舟でも十分取あつかいが出来るので、家族的に行う場合はこ  
網がよい。これより以上の網になると作業量が多くなり船の設備、構造を考えな  
なければならない。
- 71年11月試験網のテスト以来2年間たらずの間に大小40余統導入され、  
に勝連半島の与那城村、勝連村、中城湾から知念半島まで敷設されているが、過  
に敷設されている地域がある。少なくとも25統から30統程度に減らさないと  
来資源に及ぼし漁獲減をまねくおそれが大である。
- 知念半島から中城湾を囲んで勝連村までの沿岸域では環境条件を考え15統～  
統が経営的にも安定するのではないか。
- 金武湾側では環境条件が悪化の傾向にあるが10統程度は可能ではないか。
- 網がよぐれると魚の入りが悪くなる。
- 月令と魚の入り具合とは関係ない。
- リングネットは前口をのぞいて3つとも透明な網（テグス網でもよい）にした  
がリングネットと箱網の配色から考えていいのではないか。
- 将来この程の網が普及すれば網の入れかえと網のよぐれ対策を考えなければな  
ないので、よぐれ防止とよぐれの除去方法を是非考える必要がある。